

決算発表説明資料

(平成30年3月期第1四半期)

- 連結決算（経営成績）
 - 工作機械関連事業部門
 - 受注動向
 - 輸送機器関連事業部門
 - 財政状態



連結決算（経営成績）



公表＝前回業績予想(5/12)
(単位:百万円)

【前年同期比較】

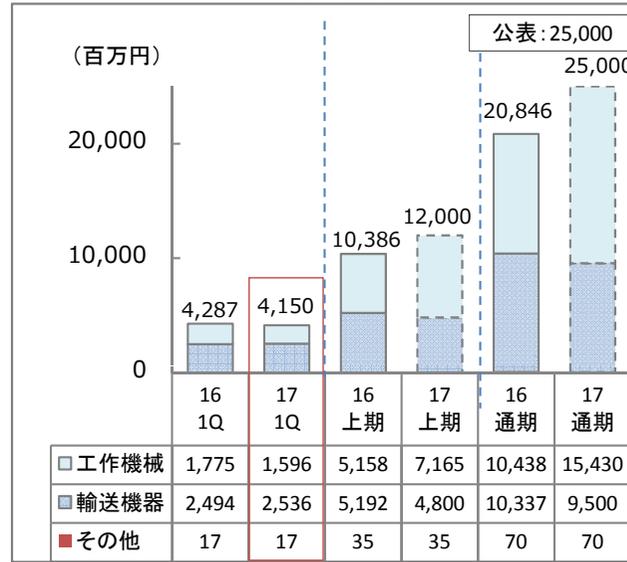
【受注回復、上期・通期黒字化へ】

拡販効果が出ており、中国、北米、国内を中心に受注が取れております。(p.3参照)

輸送機器関連事業部門は安定的に利益を計上、工作機械関連事業部門は2Q以降増収増益を期待しており、上期・通期ともに黒字となる見通しです。

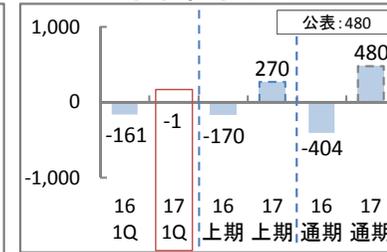
第1四半期におきましては、工作機械関連事業部門のシステム機の売上が2Qにずれ込んだことから売上微減となりましたが、損益改善施策の効果により利益率は改善しており、売上高4,150百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益▲1百万円（前年同期は161百万円の損失）となりました。

売上高

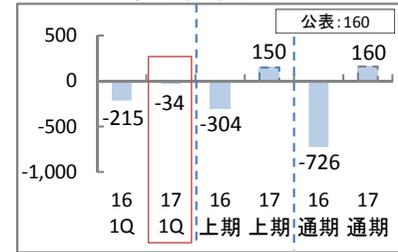


※17/上期、17/通期は予測

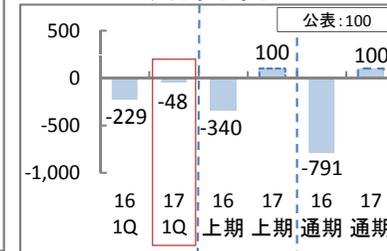
営業利益



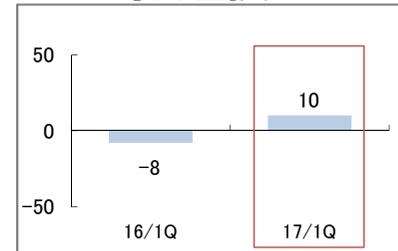
経常利益



当期純利益

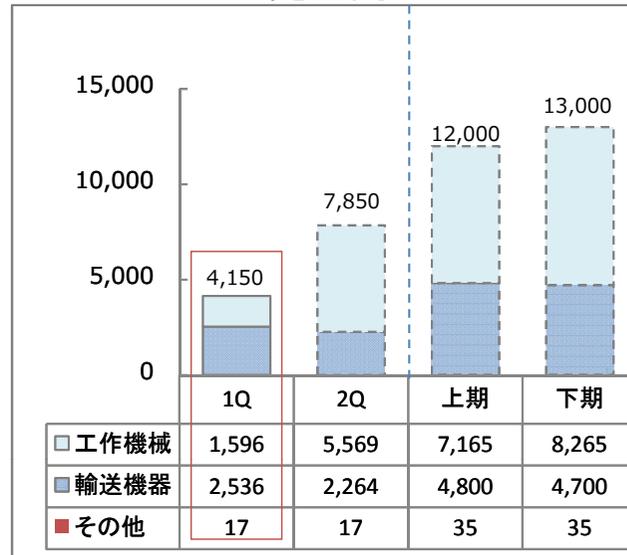


為替差損益



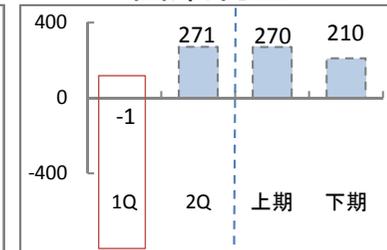
【四半期比較】

売上高

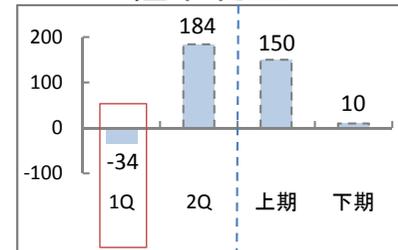


※2Q,上期,下期は予測

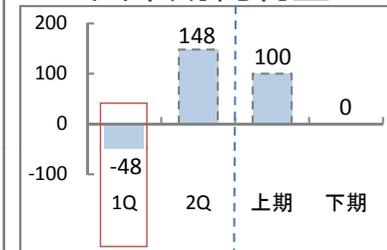
営業利益



経常利益



四半期純利益



工作機械関連事業部門（経営成績）



公表＝前回業績予想(5/12)

(単位:百万円)

● 2017年度 第1四半期業績概要

売上高につきましては、海外現地法人の業績は回復していますが、システム機の売上が2Qにずれ込んだことから、売上高1,596百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

営業利益につきましては、売上減となりましたが損益改善施策の効果が着実に出てきており、営業利益▲162百万円（前期は209百万円の損失）と改善しております。

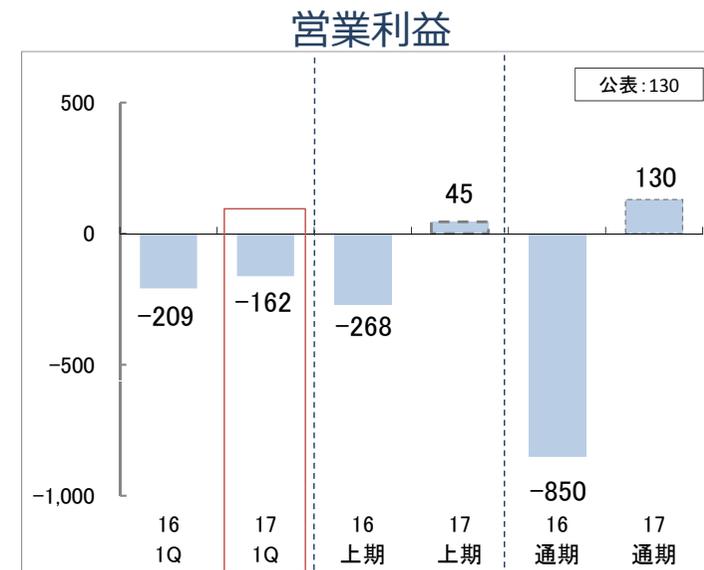
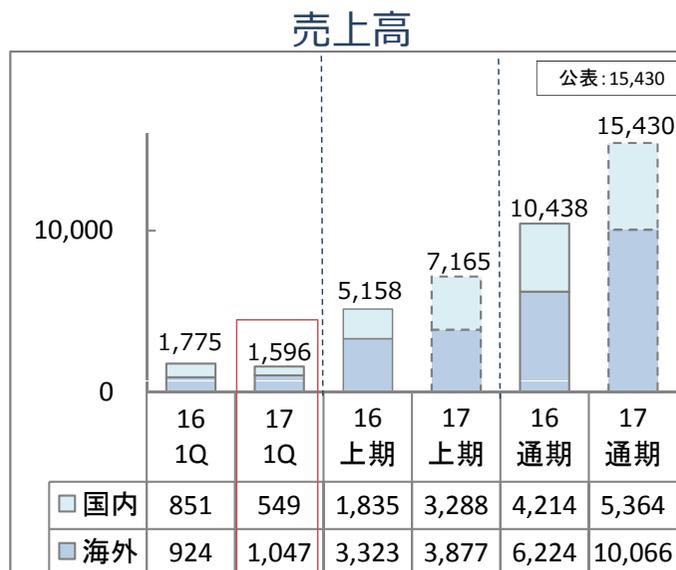
● 2017年度 上期業績見通し

概ね前回（5/12）公表通り推移しており、国内、中国、北米を中心に順調に受注を積み上げているため、売上高7,165百万円（前年同期比38.9%増）、営業利益45百万円（前年同期は268百万円の損失）と黒字回復を予想しております。

● 2017年度 通期業績見通し

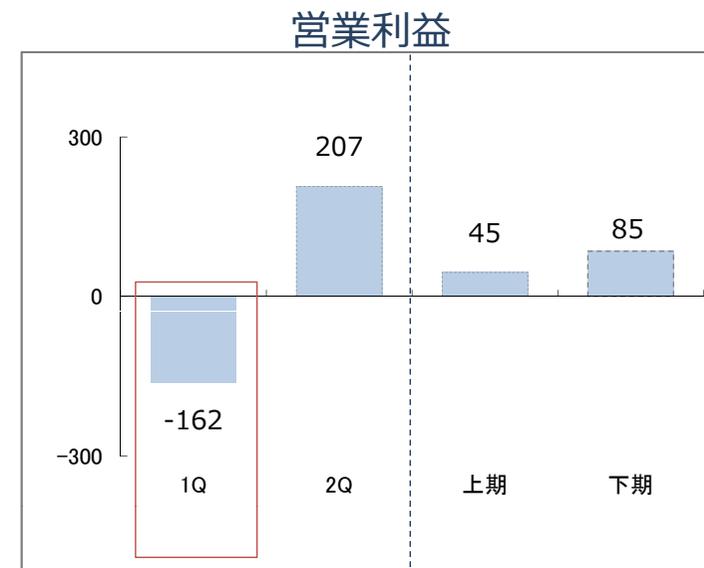
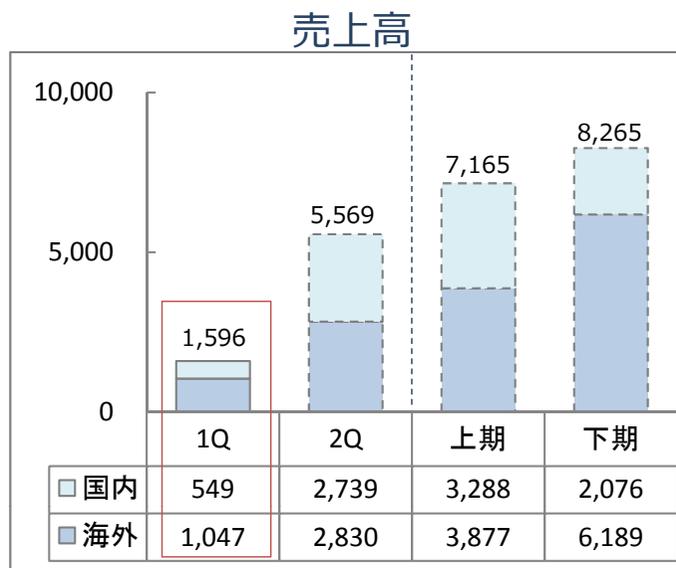
概ね前回（5/12）公表通り推移しており、上期同様順調に受注を積み上げているため、売上高15,430百万円（前期比47.8%増）、営業利益130百万円（前期は850百万円の赤字）と黒字回復を予想しております。

【前年同期比較】



※17/上期、17/通期は予測

【四半期比較】



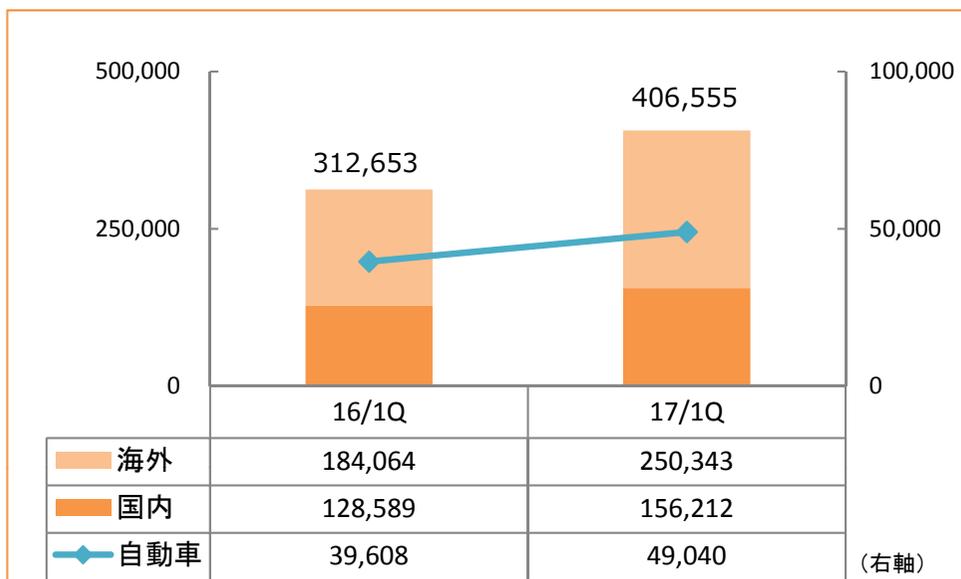
※2Q,上期,下期は予測

【四半期推移】

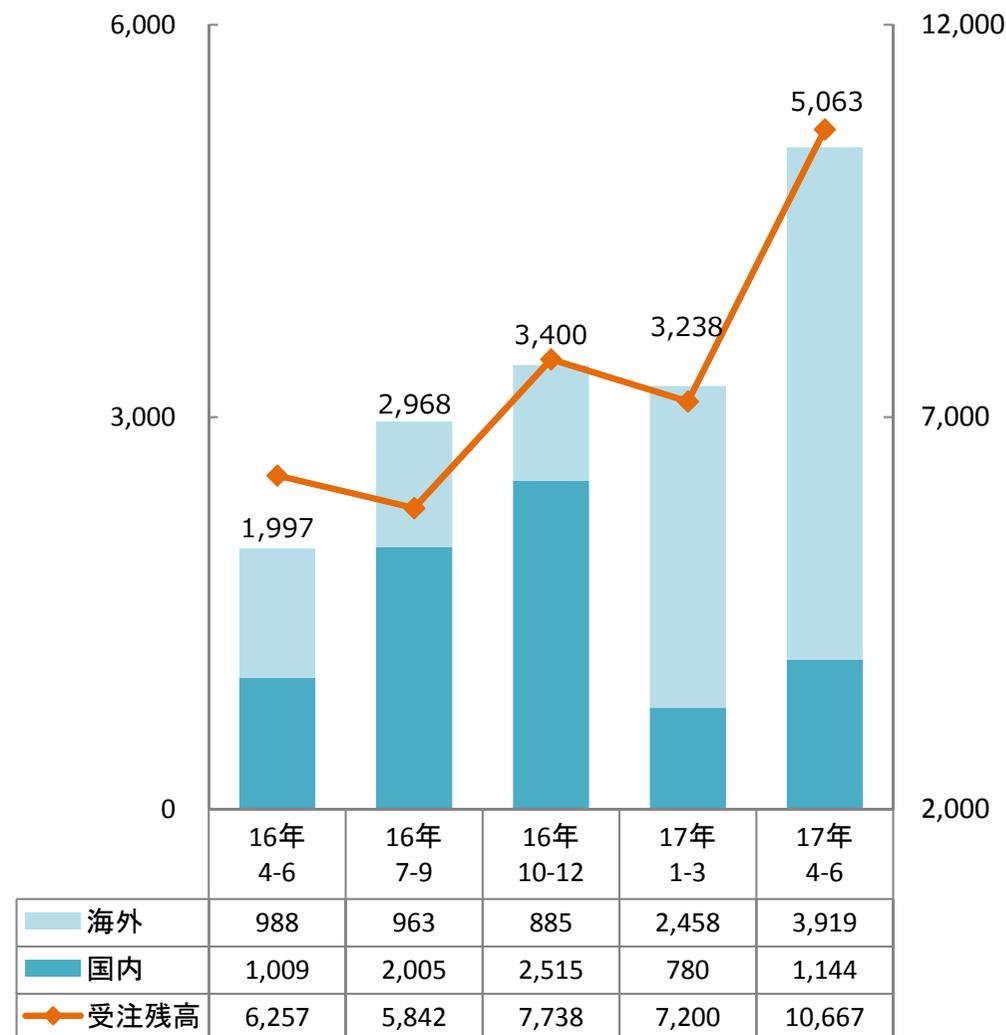
中国、北米、国内を中心に受注が取れており、1Q(4-6月)受注高は50億円を超える高い水準となりました。今期も引き続き、より多くの受注確保に努めております。

また、引合額は依然として高い水準を維持しており、受注率を高めるべく、引き続き営業技術部を中心に「提案力強化」を図ってまいります。

☆日本工作機械工業会受注推移



☆当社の連結受注高及び連結受注残高推移



輸送機器関連事業部門 (経営成績)

●2017年度 第1四半期業績概要

売上高につきましては、国内は若干の減収となりましたが、ベトナム現地法人の生産は着実に増え、売上高2,536百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

営業利益につきましては、ベトナム現地法人の売上増に加え、国内のコスト圧縮施策の効果により、営業利益148百万円（前年同期比313.0%増）となりました。

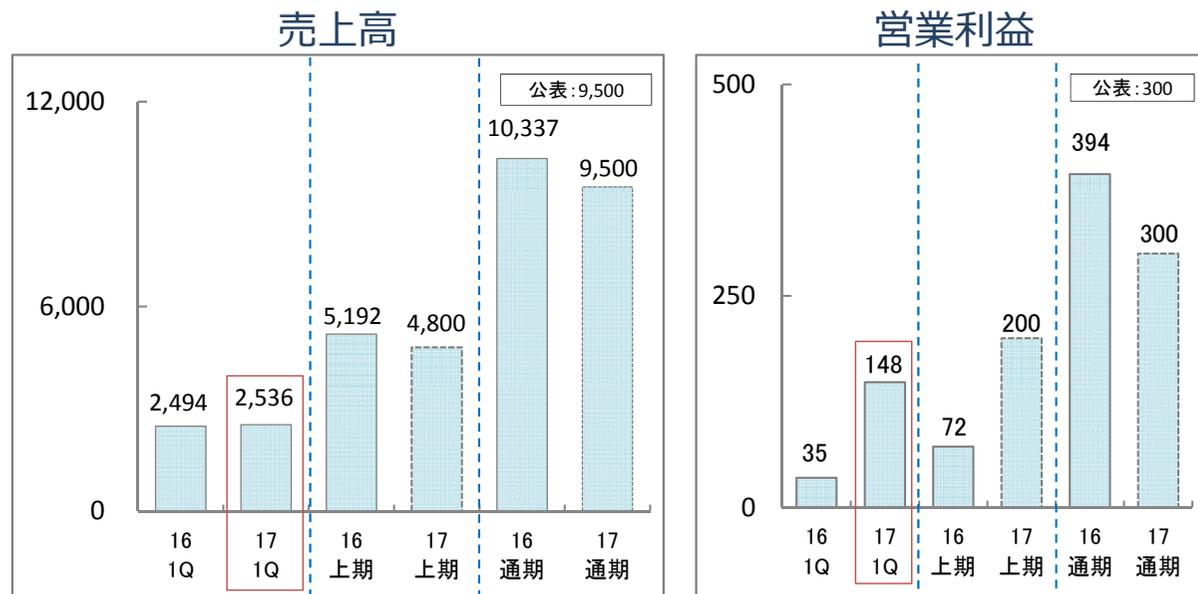
●2017年度 上期業績見通し

概ね前回（5/12）公表通り推移しており、国内は減収となるものの、ベトナム現地法人は増収、増益を見込んでおり、売上高4,800百万円（前年同期比7.6%減）、営業利益200百万円（前年同期比176.4%）を予想しております。

●2017年度 通期業績見通し

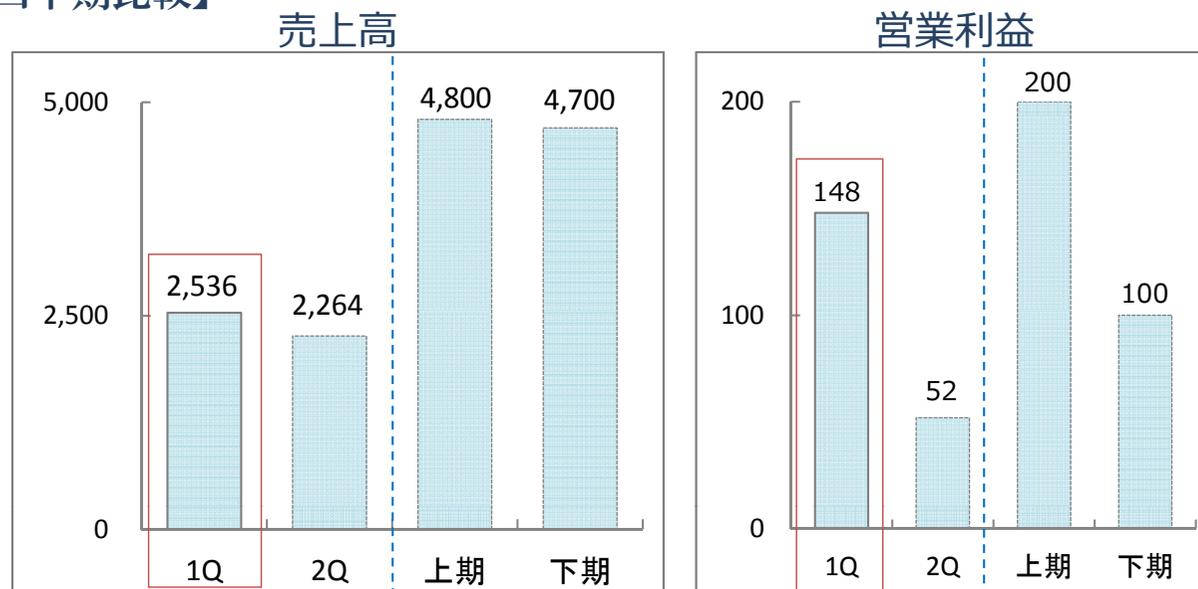
概ね前回（5/12）公表通り推移しており、ベトナム現地法人の生産は拡大し安定した収益を見込めるものの国内減収をカバーしきれず、売上高9,500百万円（前期比8.1%減）、営業利益300百万円（前期比24.0%減）を予想しております。

【前年同期比較】



※17/上期、17/通期は予測

【四半期比較】



※2Q,上期,下期は予測

財政状態

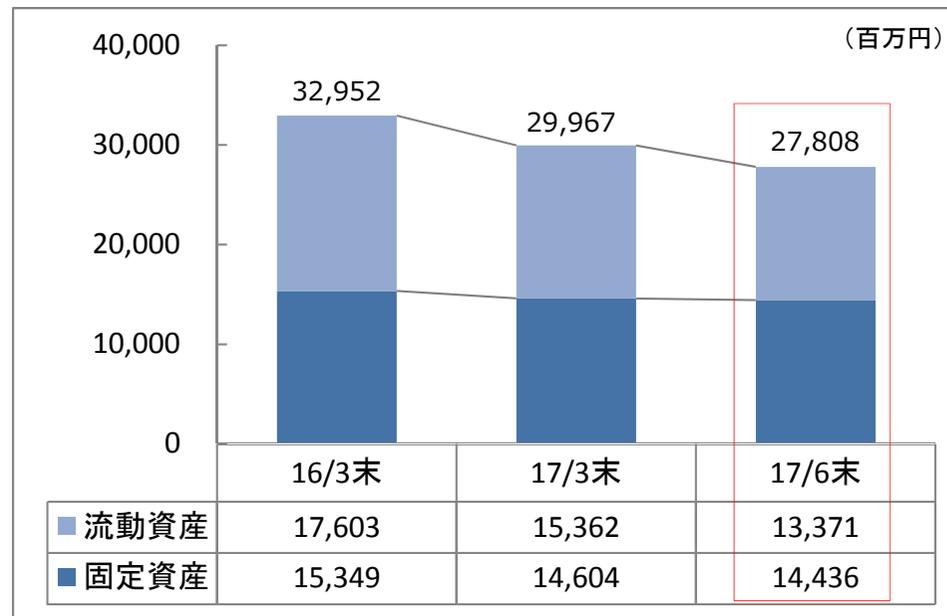
総資産

●財政状態

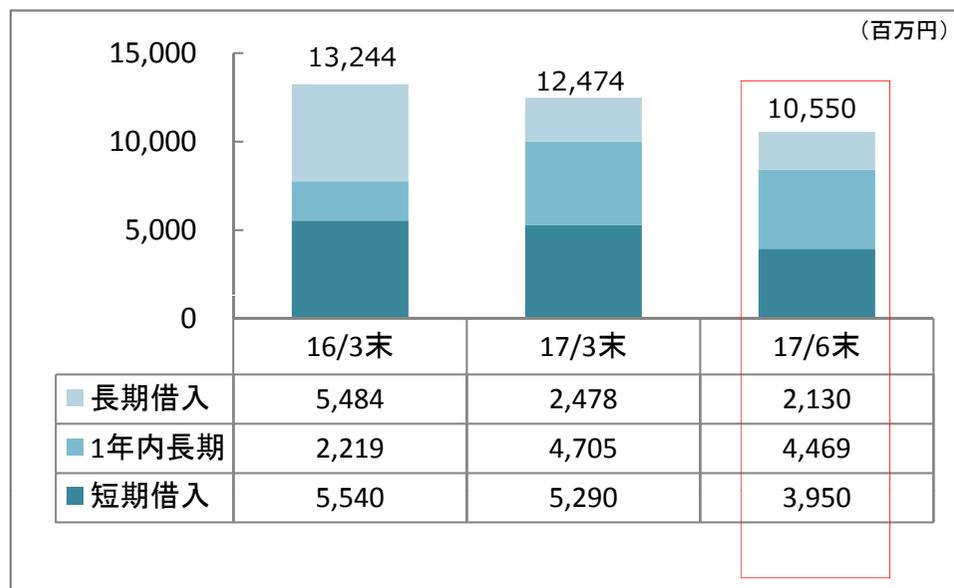
運転資金の圧縮により、バランスシート改善を継続しており、借入金、総資産は減少しております。

(借入金17/3末比 ▲1,924百万円)

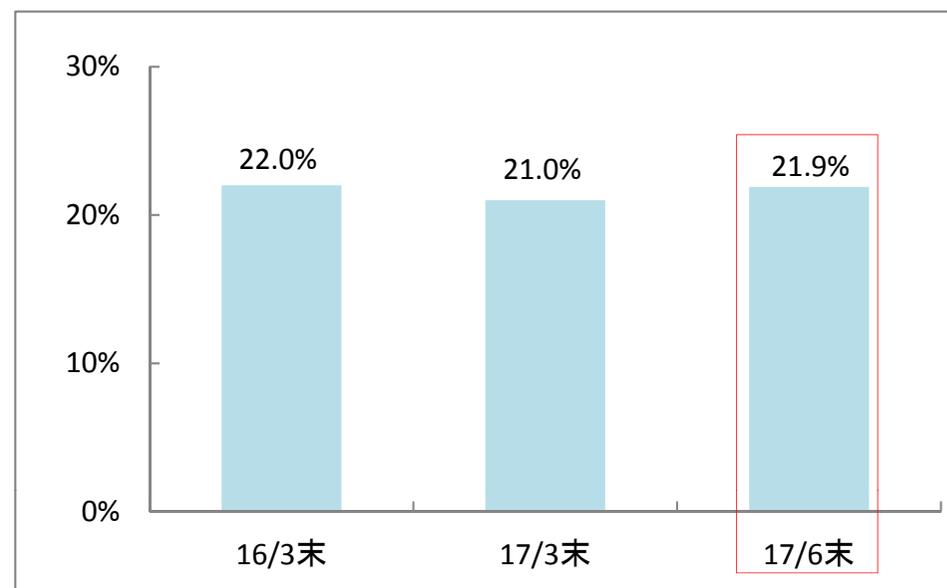
(総資産17/3末比 ▲2,159百万円)



借入金



自己資本比率



注記事項

本説明資料に記載いたしました業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。